

社会福祉法人 泉会

第6期三か年計画 2023年4月～2026年3月末日まで

泉会は経営理念・基本方針に則り三か年で下記の項目を達成させます。

1. 人権の尊重とサービスの向上
目的と方針
権利擁護・虐待防止、身体拘束禁止等の委員会、研修会の実施 利用者の望むサービスの実現のため、法人・施設運営への利用者の参画 安心安全な事業運営に備える災害対策・感染症対策等の整備 ※参考※ 義務化、努力義務な制度が令和5年度（2023年度）に多数あるため整備を完了させる。 （権利擁護・虐待防止・身体拘束禁止・非常災害・感染症などの対策強化で減算対象となる）
2. 利用者支援時間を確保するためのDX化（デジタルトランスフォーメーション）を行い、業務の効率化を図る
目的と方針
利用者支援へタイムシフトできるよう、業務の効率化を行う より安心安全な利用者支援におけるデジタル技術の活用 職員間の情報共有をタイムリーに抜け目なく行うことでのサービスの向上 法人全体ネットワークの活用による情報共有と適正で迅速な決裁
3. サービスの担い手である人財の確保、定着率を上げる
目的と方針
良質な利用者サービスを提供する大切な職員の育成を行い、定着を図る。 2023年4月を起算日として3年後定着率92%を目標とする。 職員が泉会や福祉職に誇りを持って勤務できる環境整備に法人・事業所共に取り組む。
4. 福祉における地域との役割と泉会の使命
目的と方針
利用者が地域でその人らしく生活が行えるよう、法人・事業所単位で社会参加支援に取り組む。 コロナ禍で地域と少なくなった関係を交流会、行事、学習会等で取り戻す。 1953年10月30日、国立大蔵病院の一室で発足した泉会から70年、「地域で福祉を必要とされる方へ支援を行う」思いに立ち返り行動する。 ボランティアや支援者などの「ファン」を増やす活動を行う。 SNSを活用した積極的な情報発信